

はじめに

この「総合防災ハザードマップ」は、築上町で河川の氾濫や土砂災害などが発生した場合に、町民の皆さんができる適切な避難行動をとれるよう、自然災害が発生したときの危険区域、避難場所、避難時に役立つ情報をまとめたものです。

自然災害による被害を最小限に抑えるためには、「自分の命は自分で守る（自助）」「自分たちの地域は自分たちで守る（共助）」「行政や防災関係機関が行う応急対策活動（公助）」の連携が重要です。

この総合防災ハザードマップを活用して、身の回りの危険箇所や避難所を確認するとともに、日頃の防災対策に役立ててください。



目 次

はじめに	1	洪水	49
■ 災害時の連絡先・避難所などを書き込みましょう!		■ 泛濫の種類	
■ 非常持出品・非常備蓄品リスト		■ 発令基準(水位情報)	
避難に対する基本的な考え方	3	■ 避難のポイント	
■ 避難の考え方		■ 雨の強さと降り方	
■ 避難のポイント		■ 風の強さと吹き方	
■ マイ・タイムラインを作成しよう!		■ 大雨・洪水・高潮に関する注意報・警報について	
■ 避難を開始するタイミングを考えましょう		■ 注意報・警報の発表基準	
日頃の備え【自助】	5	■ 洪水・津波・高潮ハザードマップに表示されている浸水深について	
■ 家族で防災会議		土砂災害	53
■ 我が家の安全対策を確認しましょう		■ 土砂災害の種類とその前兆現象	
日頃の備え【共助】	6	■ 土砂災害警戒情報	
■ 自主防災組織で地域を守る		■ 避難のポイント	
■ 災害時に特別な配慮を要する人への支援		津波	55
日頃の備え【公助】	7	■ 津波の特徴	
■ 情報伝達の経路		■ 津波に関する警報・注意報	
■ 避難を判断するための情報 (警戒レベルと防災気象情報)		■ 避難のポイント	
■ 築上町防災行政無線戸別受信機の使い方		高潮	56
避難生活の心得	9	■ 高潮の起こる仕組み	
■ 避難生活の注意点		■ 高潮の被害を受けやすい場所	
■ 避難所生活における配慮		■ 台風	
■ 車中泊避難の注意点		■ 避難のポイント	
■ 避難所運営について		地震	57
避難所一覧	11	■ 地震が発生する仕組み	
総合防災ハザードマップ	12	■ 液状化現象とは	
		■ 地震ハザードマップ(震度分布図)	
		■ 地震発生時の行動	
		南海トラフ	60
		■ 南海トラフ地震とは	
		■ 南海トラフ地震の発生のしくみ	
		■ プレート境界の周辺で起こる津波	
		■ 南海トラフ地震(震度分布図)	
		■ 南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ	
		■ 南海トラフ地震に関する情報の種類及び発表条件	

災害時の連絡先・避難所などを書き込みましょう!

家族などの連絡先

名前	緊急連絡先(会社・学校)	住所	生年月日	血液型

避難所

離ればなれになったときの家族などの集合場所

非常持出品・非常備蓄品リスト

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。事前に準備できているか、確認しましょう。

携帯ラジオ

- ラジオ
- 電池(多めに用意)



懐中電灯

- 懐中電灯
(できれば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)



貴重品

- 現金
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 預金通帳
- 権利証書



その他

- 衣類(下着・上着など)、毛布
- 紙おむつ
- 生理用品
- ライター
- ウェットティッシュ
- タオル
- 携帯電話の充電器
- カッパ
- 総合防災ハザードマップ
- ヘルメット
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)

救急医療品



- 常備薬
- 胃腸薬
- ばんそうこう
- 傷薬
- 鎮痛剤
- 包帯
- 風邪薬
- お薬手帳

非常食品等

- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 缶詰
- 紙皿
- 水筒
- 案抜き
- 紙コップ



感染症対策物資

- マスク
- 消毒液
- 体温計



非常備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるように確認しましょう。

飲料水



- 飲料水として
ペットボトルや缶入りの
ミネラルウォーター
(1人1日3リットルを目安に)
貯水した防災タンクなど

非常食品

- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフルーズ・
チョコレート・アメ(菓子類など)



燃料

- なべ・やかんなど
- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料



その他

- 生活用水
(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・
ドライシャンプーなど
- バケツ・各種アウトドア用品など



ローリングストック法

非常持出品・備蓄品などで保管する非常食などを、定期的に消費し、その分をあらためて補充することで、「食べながら備蓄する」ということができます。

